

# 若き担い手たち

# 夢に向かって挑戦

近年、農家の高齢化や後継者不足が課題となる一方で、農業に興味や関心を持つ若者が増えつつあります。その中で、東海地方に就農して、自分の夢や目標に向かって挑戦する若き次世代の担い手たちを各県から紹介します。

【静岡支局】富士宮市の小河麦人さん(35)は2017年2月に就農と同時にアドリ株式会社を設立し、現在、葉ネギを市内20カ所約10畝で栽培している。「小学生の長男が休日畑へ行くのを楽しみにしていて、良い教育ができていると感じ

## 葉ネギ栽培で会社設立 小河 麦人さん・静岡県富士宮市



「農業を人気ナンバーワンの職業にするのが夢」と小河さん。アドリの代表を務める

## ミシュラン店に出荷 販路拡大

独立を決意。農地を借りられたことを機に、一度も訪れたことの無かった富士宮へ一家で移住した。

生まれ育った関西地方と比べると、静岡県ではまだ伸びしろがあると考へ、葉ネギの栽培を決めた。土壌分析に基づいた改良を行い、富士山麓の高低差を生かして通年出荷につなげた。「富士宮美ネギ」の意味を込め、「富士の雅ネギ」と名付けて販売。地名を入れたのは、いずれは地域の人にも広く作ってほしいとの願いを込めているという。

葉ネギは顧客から好評だ。「苦手な人から『甘くてくせが無く、これなら食べられる』と注文が入り、うれしかった」と小河さん。『ミシュランガイド』に載ったレストランに採用が決まるなど販路を広げている。

「収入保険制度に加入し、安心して経営ができる。成功事例をつくり、優秀な人材を農業に多く呼び込みたい」と力を込める。

(増井)